

大湯さん農水大臣賞受賞

～組合長へ受賞報告～

3月4日、石川基幹支店管内の大湯知巳さんがJ A本店を訪れ、第23回全国果樹技術・経営コンクールで最高位の農水大臣賞を受賞したことを工藤俊博組合長に報告しました。

大湯さんは日本で初めて「カットリんご」に取り組み、現在は約17㌃の面積でりんごを栽培し、その総生産量の約8割をカットリんご用として自ら製造・販売しています。経営を効率的に展開するため、りんごの生産をする「株式会社ファームあおもり」とカットリんごの製造・販売をする「株式会社アップルファクトリージャパン」の2社を運営。こうした生産、製造・販売部門の法人化により地域雇用を創出しているほか、栽培が困難となった園地を集積することで、放任園の未然防止と産地維持に貢献したことから今回の受賞となりました。

大湯さんは受賞について「りんごの消費拡大のため、絶対にカットリんごを成功させたい一心で頑張ってきた。辛い時期もあったが、謝った数だけ技術は上がると信じ続けてきたのでこの度の受賞はとてもうれしい。これからも、一緒に頑張ってきた息子たちと同じ夢に向かって進んでいきたい」と笑顔で話しました。



農水大臣賞を受賞した大湯さん

優秀な成績で職員3人表彰

～第17回青森県J A農産物検査員鑑定競技大会～

J A全農あおもりと県J A農産物検査協議会が2月4日に開いた「第17回青森県J A農産物検査員鑑定競技大会」で、当J A職員3人が表彰されました。

大会には県内のJ Aから31人が参加。35点のうち玄米と5点の水稲もち玄米を30分以内で等級判定をし、400点の持ち点から等級相違と時間超過による減点方式で採点されました。採点の結果、優秀賞で南米穀センターの八木橋寛人さん、優良賞で板柳基幹グリーンセンターの野呂晋平主任、北米穀センターの福士直樹さんが表彰されました。



表彰された職員